



足元の株式市場と弊社ファンドについて

受益者の皆様

平素は、弊社ファンドをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
保有いただいておりますファンドの足元3カ月の状況につきまして、ご説明させていただきます。

足元3カ月の市況について

2020年1-3月の世界の株式市場は、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大したことを背景に、2019年12月30日からのダウ工業株30種平均が▲23.0%、独DAX指数が▲25.0%、英FTSE100指数が▲25.2%、TOPIXが▲18.5%となるなど大きく下落しました。

2020年に入ってから世界の株式市場は、年初は米中貿易摩擦懸念が払しょくされ上昇したものの、中国で新型コロナウイルスの感染が明らかとなったことで、1月下旬には下落に転じました。

2月初旬から中旬においては、新型コロナウイルスの感染は中国国内に限定した問題との認識から、世界の株式市場は再び上昇に転じました。しかし、下旬以降は、中国のみならず欧州、中東など、世界的に感染拡大が進み、株式市場は大幅に下落しました。

3月上旬には世界保健機関（WHO）が「新型コロナウイルスは世界的な大流行になった（パンデミック）」と宣言し、更なる感染拡大に対する不安から、株式市場の値動きが激しくなりました。米国が国家非常事態宣言を出すなど、世界各国で感染拡大の封じ込めに向けた渡航の禁止や、在宅勤務、工場の閉鎖などの取り組みが始まりましたが、これらが長期化することで、世界経済が混乱に陥るとの不安から、株式市場では値動きの激しい展開が続きました。

各国・地域の中央銀行による金融緩和策の効果や世界各国政府の経済支援策に対する期待から、3月末にはやや値を戻す局面があったものの、2019年末の株価水準からは大きく下落しました。

今後の見通しについて

新型コロナウイルスの感染拡大については、引き続き注視が必要であり、株式市場も値動きの激しい展開が予想されます。しかし、世界の株式市場は、過去にも昨今のような大幅な下落局面を経験しながらも、経済の成長とともに、再び力強さを取り戻してきたのも事実です。足元の株式市場の調整により、配当利回りは上昇し、株式の相対的な魅力度は増しているとも考えられます。こうした環境下、引き続き、高い利益成長が見込まれ質の高い配当が期待できる企業で、割安な株価水準で取引される株式をポートフォリオに組み入れ、運用を行ってまいります。

各ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名称	2020年3月31日基準価額	1カ月騰落率	3カ月騰落率
インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジあり) (毎月決算型) 【愛称：世界のベスト】	9,246円	-18.85%	-28.42%
インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし) (毎月決算型) 【愛称：世界のベスト】	7,911円	-20.56%	-30.28%
インベスコ 世界株式オープン 【愛称：G★プレイヤー】	10,172円	-19.28%	-27.56%

※1カ月、3カ月の騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。

出所：ブルームバーグ。インベスコ。

米国株式は、ダウ工業株30種、日本株式はTOPIX、ドイツ株式はDAX指数、英国株式はFTSE100指数（指数はそれぞれ現地通貨ベース）

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果などをお約束するものではありません。

当レポートは、4月1日時点における、株式・マルチアセット部の見解からインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料であり、将来の運用成果などをお約束するものではありません。

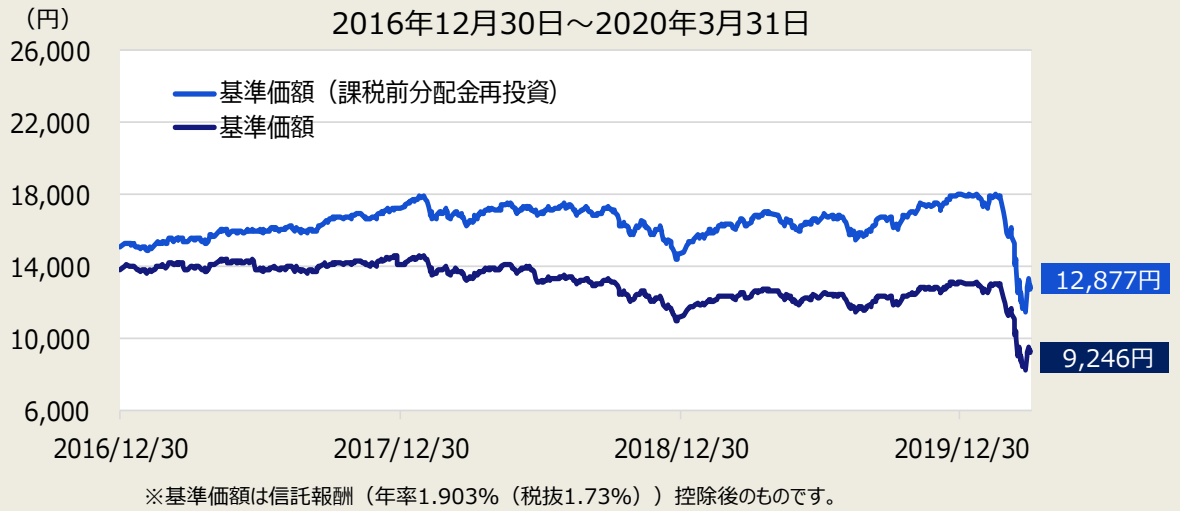
当資料ご利用の際は、最終頁の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をお読みください。



足元の株式市場と弊社ファンドについて

～ご参考/各ファンドの運用実績～

インベスコ世界厳選株式オープン
 (為替ヘッジあり) (毎月決算型)
 【愛称：世界のベスト】



インベスコ世界厳選株式オープン
 (為替ヘッジなし) (毎月決算型)
 【愛称：世界のベスト】



インベスコ世界株式オープン
 【愛称：G★プレイヤー】



出所：インベスコ。

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果などをお約束するものではありません。
 当資料ご利用の際は、最終頁の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をお読みください。



ご注意事項

当資料は情報提供を目的として作成した資料であり、当社が特定商品の勧誘を行うものではありません。
当資料の中で記載されている内容は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

投資信託について

投資信託は、国内外の株式や公社債、コモディティなどの値動きのある先物取引や有価証券等を投資対象としているため、**元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。**

<主なリスク>

①株価の変動リスク、②公社債にかかるリスク、③コモディティの価格変動リスク、④信用リスク、⑤デフォルト・リスク、⑥流動性リスク、⑦カントリー・リスク、⑧為替変動リスク、⑨中小型株式への投資リスク、⑩デリバティブ（金融派生商品）に関するリスク、⑪不動産投資信託証券の価格変動リスク、⑫バンクローンにかかるリスク、その他の留意点などがあります。

- 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。
- 分配金の支払いおよびその金額は、収益配分方針に基づき委託会社が判断します。そのため、分配金は支払われない場合があります。あらかじめ一定の額の分配金のお支払いを保証するものではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ご投資に当たっては、お客さまに以下の費用をご負担いただきます。

- ・購入時手数料 …… 上限 3.85%（税抜3.5%）
- ・運用管理費用 …… 上限 2.123%（税抜1.93%）
- ・信託財産留保額 …… 上限 0.3%
- ・その他の手数料等 …… 上記費用の他に、保有期間などに応じてご負担いただく費用があります。

投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託によって異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申し込みは

設定・運用は



商号等 東海東京証券株式会社
金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

《お問い合わせダイヤル》
電話番号：03-6447-3100（営業日の午前9時から午後5時まで）
ホームページ：http://www.invesco.co.jp/

当資料のお取り扱いにおけるご注意

本書は情報提供を目的として、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（以下、「弊社」といいます。）が作成したものです。本書は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本書に記載された一般的な経済、市場に関する情報およびそれらの見解や予測は、いかなる金融商品への投資の助言や推奨の提供を意図するものでもなく、また将来の動向を保証あるいは示唆するものではありません。本文で詳述した本書の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。当資料について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。